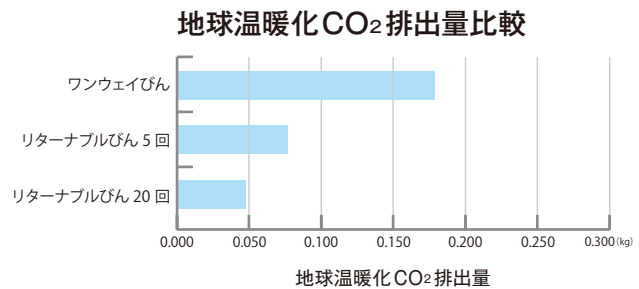


【環境負荷についての比較データ】

〈対象商品〉ワンウェイびん（本体190g）、リターナブルびん（本体198.5g）

■ 500ml 容器1本当たりのCO₂排出量

CO₂の排出量を、比較してみると、ワンウェイびんが一本当たり187gに対し、リターナブルびん（20回使用）は43gと、20回使用のリターナブルびんの環境負荷が最も少ないことがわかります。

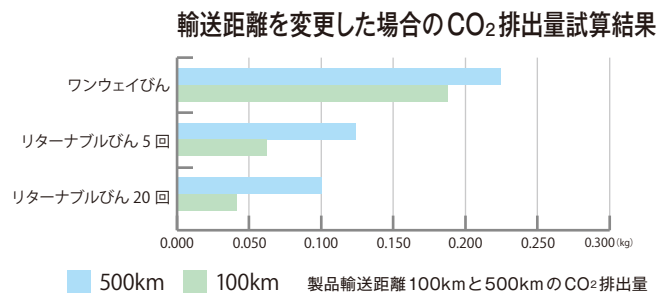


（出典：リターナブルびんポータルサイト）

■ 輸送距離を変更した場合のCO₂排出量試算結果

（製品の輸送距離100kmと500kmのCO₂排出量の比較）

100kmから500kmに輸送距離が長くなると、CO₂排出量は増加します。リターナブルびんは距離が長くなった場合に、環境負荷の増加が大きくなります。

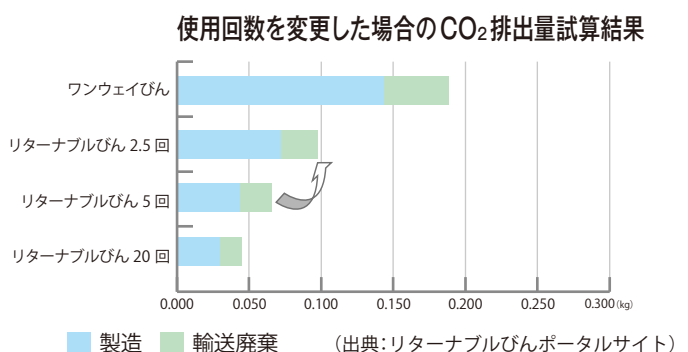


（出典：リターナブルびんポータルサイト）

■ 回収率（使用回数）の変化によるCO₂排出量の変化

リターナブルびんの回収率を変えてシミュレーションを行ったものです。60%（2.5回使用）、80%（5回使用）、95%（20回使用）

リターナブルびんの回収率が向上することによって、CO₂排出量が減少しています。



（出典：リターナブルびんポータルサイト）

リターナブルびんはくり返し使うことで、エネルギーの消費量やCO₂の排出量を大幅に削減できます。きちんと回収され、くり返し使われることで、リターナブルびんの持つ環境への優位性が発揮できます。古くなり使用できないリターナブルびんも、新しいびんの原料やその他の用途に再利用されます。